

日本の死刑制度の 是非について ～映像を見て、話し合う～

日時：2018年1月20日(土)

14:00～16:00

場所：カトリック阿倍野教会

発題者：堤 年弘（部落差別と人権を考える「信徒の会」）

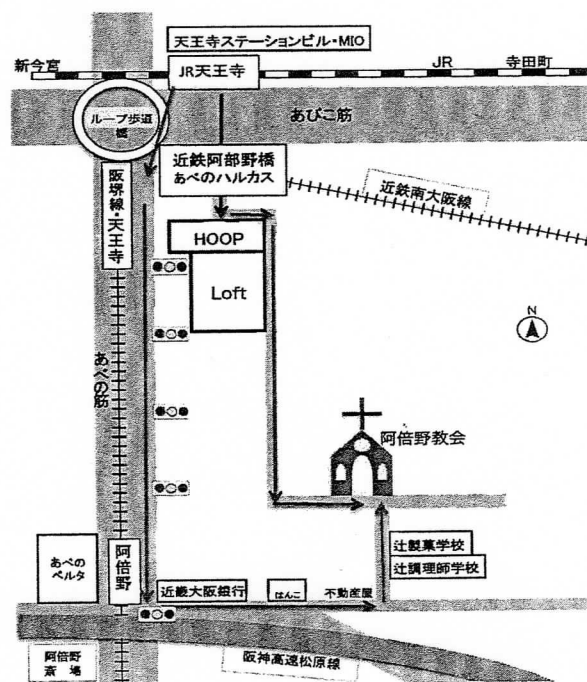
・・・もともと世の中がいやになって死にたいと言っていた人間に、死刑を執行したところで、それが罪を償うことになるのか疑問なのだ。宅間守のように、社会に復讐するために死を覚悟して事件を起こした人間に死刑を宣告することは、処罰にさえなっていないような気がするのである。

犯罪を犯した人が「罪を償う」とはどういうことなのか。彼らをどう処遇することが本当の問題解決につながるのか。これだけ動機不明といわれる事件が頻発する現実を見るにつけ、死刑こそが有効で重い処罰なのだという思い込みで現実に対処するのは、ほとんど思考停止というべきではないのか。私はそう思うのである。

篠田 博之「ドキュメント死刑囚」より

どなたでもお越しください。

「信徒の会」連絡先 tel 06(6939)9771



阿倍野教会へ初めてお越しの方は、JR天王寺駅/近鉄阿倍野橋駅(ハルカス)から阿倍野橋筋を南にまっすぐ、信号5つ先の「阿倍野」まで直進(約7~8分)、大きな交差点に出ます。近畿大阪銀行を左折まっすぐ300mほど行くと左角に不動産屋を左折し、まっすぐつき当たると阿倍野教会があります。中の道に入ると迷います。この方法でお越しください。
阿倍野教会 TEL06-6621-6024 (松崎町3-6-25)